

P
〔単元の目標〕

「夏休みの思い出」を、ALTや友達の間を見ながら、大きな声で、スラスラとネイティブな発音で発表することが出来る。

D
〔単元の目標の達成に向けた手立て〕

	手立て	資料
①	「学びの手引き」を作成し、活用した。	A
②	過去形を初めて学ぶ单元のため、過去形を学ぶ必然性を感じられるような導入を行った。	B
③	過去形を用いて話す場面を意図的に計画して、繰り返し取り組んだ。（教師と児童、児童と児童）	C

C
〔単元の目標の達成状況〕

- 全体の約半数の児童が、単元の目標を達成することが出来た。
- Lesson1～3までの单元でも、同じように「発表」の機会を設けたが、その際には、前を見て発表することが出来ず、ワークシートを見ての発表だったが、今回はスラスラと発表が出来なかったものの、ALTや友達を見て発表しようという意欲がほとんどの児童に見られた。

A
〔改善の方向性〕

- 話していることに間違いがないか不安でワークシートを見てしまう児童がいるため、日々の授業内でより多くの英語を話す機会や発表のための練習時間を確保する。
- さらにレベルアップした発表が行えるよう、ジェスチャーを加えながら話すことや、単語の区切りを意識した話し方などを指導していく。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

- ①単元の流れを自然な課題解決の流れとなるように計画した。
- ②過去形を初めて学ぶ単元のため、過去形を学ぶ必然性を感じられるような導入を行った。
- ③過去形を用いて話す場面を意図的に計画して、繰り返し取り組んだ。（教師と児童、児童と児童）

〔児童の活動〕

①
単元末活動から、自分がこれから何を学習したらよいか考えたり、学びの手引きを通して、どんなことを学習していくのか見通しをもつ。

②
教師の夏休みの思い出について聞きながら、何をしたのかを考えたり、今までに学習した英語と違う点を見つける。

③
これまでに学習した過去形を用いたり、英語の語順を意識したりしながら、「食べたもの」や「したこと」などについて、教師や友達と話す。

〔教師の指導〕

「学びの手引き」を活用し、単元末活動や単元目標を確認して、それまでに学習しなければならないことを児童と確認した。

教師の夏休みの思い出について聞く際に、おおよその意味をつかむことと、今までに学習した英語と異なる点を見つけながら聞くことを事前に伝えた。

- 過去形を用いた英語を用いて話すことと、相手意識をもって話すことの2点を意識して取り組むことを伝えた。
- 単元末の活動を確認し、活動をするこの目的を確認して、取り組ませた。

〔工夫点〕

- 「学びの手引き」を作成した。
- 単元目標に向かって、自然な課題解決の流れとなるような単元計画を構成した。

- 夏休みの思い出についてのパワーポイントを作成した。
- 写真だけではなく、英文も一緒に載せた。
- 英文にも視線がいくように、出来るだけシンプルなパワーポイントを作成した。

- 学習の始まりには毎回、過去形を用いて自分のことを話す機会を繰り返し、取り入れた。
- なぜこの活動を行うのかという目的を明確にさせた。

【資料A-1】

6年生 外国語 学びの手引き

1. 単元名 「Lesson4 My Summer Vacation」 全6時間

2. 身に付けたい力

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	<p>〈知識〉 I went to… I ate… I saw … など, 夏休みにしたことや感想を伝える表現の仕方が分かる。</p> <p>〈技能〉 これまでに学習した英語や基本的な表現を使って, 夏休みの思い出について話すことができる。</p>	夏休みの思い出をについて, 相手によりよく伝わるように, 話すことができる。	夏休みの思い出について, 相手によりよく伝わるように, 話そうとしている。

3. 単元の目標

「夏休みの思い出」を ALT や友達の間を見ながら, 大きな声で, スラスラとネイティブな英語で発表することができる。

【資料A-2】

4. 学習計画

時	学習活動 ◎Lesson4's Goal / ○Today's Goal / ・活動	身に付けたい力
1	◎友達に夏休みの思い出を伝えよう。 ○夏休みの思い出を伝える表現を知ろう! ・単元の見直しをもつ。 ・教師の夏休みの思い出について知る。 ・過去形の表現を聞き取る。 ・友達に伝えたい夏休みの思い出を決める。	【聞くこと:知識】 I went to... I ate... I saw... など、夏休みにしたことやその感想を伝える表現の仕方が分かる。
2	○過去形の英語を話したり、聞いたりしよう! ・過去形の英語を練習する。 ・ボンゴゲームをする。 ・夏休みの思い出について、聞き取る。	【聞くこと:技能】 I went to... I ate... I saw... など、過去形の表現を聞き取ることが出来る。 【話すこと:知識】 I went to... I ate... I saw... など、夏休みにしたことや感想を伝える言い方がわかる。
3	○語順を意識して、英語を話そう! ・過去形の英語を練習する。 ・日本語と英語の語順について考える。 ・カードを正しい語順に並べ替えたり、話したりする。 (ロイロノート) ・自分の夏休みの思い出について、語順を意識して話してみる。 ・夏休みの思い出について、友達と尋ね合う。	【読むこと:技能】 音声で聞いた簡単な英語や基本的な表現を使って話すことが出来る。 【話すこと(やり取り):技能】 簡単な英語や基本的な表現を使って、夏休みにしたことや感想について、伝え合うことが出来る。
4	○「My Summer Vacation シート」を作ろう! ・「My Summer Vacation シート」の書き方について、説明を聞く。 ・My Summer Vacation シートを作る。 ・発表の練習をする。 (ルーブリックで評価について確認してから)	【書くこと:思考力・判断力・表現力】 語順を意識しながら、例文を参考に、音声で聞いた簡単な英語や基本的な表現を用いて書くことが出来る。
5	○Jan 先生や友達に「夏休みの思い出」を伝えよう! ・発表の練習をする。 (ルーブリックで評価について確認してから) ・夏休みの思い出について発表する。	【話すこと(発表):技能】 これまで学習した英語や基本的な表現を使って、夏休みの思い出について、相手によりよく伝わるように、話すことが出来る。 【話すこと(発表):主体的に学習に取り組む態度】 夏休みの思い出について、相手によりよく伝わるように、話そうとしている。
6	○Lesson4 を振り返ろう。 ・プレテストやプリントに取り組む。 ・英語を書く練習や話す練習に取り組む。	【聞くこと:技能】【読むこと:技能】 これまで学習した英語や基本的な表現を聞き取ったり、意味が分かったりする。

【資料B】



Summer
Vacation!

The text "Summer Vacation!" is written in a large, blue, outlined font with a white fill and a subtle shadow. The word "Summer" is on the top line and "Vacation!" is on the bottom line. The text is surrounded by various colorful illustrations of fruits and leaves, including a slice of orange, a watermelon slice, a kiwi, a lemon, a strawberry, a banana, and several green leaves. The background is white.



【資料C】

【発表について】

	目線	声	流暢さ
A	<ul style="list-style-type: none">・聞いている人の目を見て発表している。	<ul style="list-style-type: none">・みんなに聞こえる声の大きさを発表している。・聞き取りやすい速さで発表している。	<ul style="list-style-type: none">・スラスラと止まらずに発表している。・英語らしい発音で発表している。
B	<ul style="list-style-type: none">・紙を見ながら発表している。・前は向いているけれど、聞いている人ではないところを見て発表している。	<ul style="list-style-type: none">・聞き手に聞こえない声の大きさを発表している。・ゆっくりすぎる、または、速すぎる速さで発表している。	<ul style="list-style-type: none">・言葉が詰まったり、たどたどしく発表している。・日本語らしい英語で発表している。
C	Bの基準を満たしていない		